

広島神楽

定期公演 へようこそ

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。

- ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
 - (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
 - (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
 - (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
- 以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。

フラッシュを使用するの撮影、三脚を使用するの撮影、撮影された画像の営利目的での再掲および以上の動画公開は禁止させていただきます

スマホや携帯で撮った動画や写真をSNSにどんどんアップして

広島神楽の魅力を発信してください!!

11月27日のタイムスケジュール

出演:旭神楽団(北広島町)

19:00～開演

19:05～第一幕『大江山』
(およそ35分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『八岐大蛇』
(およそ35分)

20:40～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

あさひかぐらだん

旭神楽団プロフィール ～北広島町～

神楽伝承は定かではありませんが、戦前までは六調子の神楽を舞っていたようです。

戦時中は活動を中止していたようですが、昭和28年ごろ当時の若者が高田舞を導入し新舞を中心にした神楽団としてよみがえらせ、昭和30年代半ばから各地の競演大会で優秀な成績を収めておりました。

その後一時期団員の減少や高齢化などで低迷していましたが、平成に入ったあたりから、若い団員が奮起し、厳しい練習を重ね「真に神楽の粋を極める」を大目標に、芸の習得に取り組み神楽の伝承・保存に努めております。

第一幕『大江山』 おおえやま

一条天皇の御代、丹波国・大江山の千丈ヶ岳に酒呑童子という鬼神が立て籠もり、都に出ては女人をさらうなどの悪行を重ねていました。

これを嘆いた帝は源頼光に大江山・鬼神征伐の勅命を下します。帝の命を受けた頼光は四天王と共に、神の化身から授かった「神剣」と、鬼が飲むと力を失い善人が飲めば力が増すという「神変鬼毒酒」を携え、山伏姿に身を変え大江山に向かいます。

道なき道を進む道中、童子にさらわれた都の娘に出会い、娘の案内で童子の岩屋へ向かいます。一夜の宿を借りたいと、激しい問答の末、頼光主従は認められます。

お神酒を童子に献上し、酒盛りとなり、酒がまわった頃、頼光主従は岩屋に切り込み激しい戦いの末、見事酒呑童子を征伐するという物語です。

大	太	鼓	—	砂田	寿紀
小	太	鼓	—	竹盛	英幸
手	打	鉦	—	前田	冬樹
		笛	—	川手	秀則
源	頼	光	—	菅田	淳
渡	辺	綱	—	石原	大志
紅	葉	姫	—	小林	大地
酒	呑	童子	—	橋本	一也
茨	木	童子	—	法地	裕樹
唐	熊	童子	—	箕田	和樹
三	世	ヶ	託	引地	峰雄

第二幕『八岐大蛇』 やまたのおろち

出雲の国に暮らす足名椎(あしなづち)・手名椎(てなづち)老夫婦には八人の娘がいました。しかし年毎に一人またひとりと大蛇に飲み取られ、七人まで娘を失いました。そしていよいよ八人目の姫が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の姫・奇稻田姫(くしいなだひめ)は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原(たかまがはら)から舞い降りた須佐乃男命(すさのおのみこと)が通りかかり、その訳を聞きます。

尊は、大蛇退治を決め、老夫婦に八塩折(やしおりの)毒酒を造らせ酒を入れた樽の後に姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫の影を飲み干していきます。酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。これを待ち構えていた尊は、壮絶な戦いの末、大蛇を退治します。

大蛇の腹を切り裂くと、一本の刀が出てきます。これを天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)と名づけ、天照大神(あまてらすおおみかみ)に捧げます。そしてめでたく奇稻田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。

大	太	鼓	—	砂田	寿紀
小	太	鼓	—	竹盛	英幸
手	打	鉦	—	前田	冬樹
		笛	—	川手	秀則
武	速	須	佐	之	男
足	名	椎	—	菅田	淳
手	名	椎	—	箕田	義光
奇	稲	田	姫	隅	中
大		蛇	—	小林	大地
		〃	—	石原	大志
		〃	—	法地	裕樹
		〃	—	橋本	一也
		〃	—	立川	賢二
		〃	—	引地	峰雄

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。
※助成/一般社団法人地域創造